

記入例

婚姻届

届出する日付を記入

令和 年 月 日届出

沖縄県南城市長 殿

受理 令和 年 月 日 第 号	発送 令和 年 月 日					
送付 令和 年 月 日 第 号	長印					
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附票	住民票	通知

同時に住所変更（転入、転居）をするときは、新しい住所を記入します。ただし、閉庁時に届出の場合は住所変更できませんので、異動前の住所を記入します。

婚姻前の本籍・筆頭者氏名を記入します。

婚姻後、夫の氏か妻の氏のどちらかを名乗るかを記入します。

(1) 氏名	夫になる人 なんじょう 南城 福太郎	妻になる人 おきなわ 沖繩 美幸
生年月日	昭和(平成) 2年 1月 1日	昭和(平成) 3年 1月 1日
(2) 住所	南城市佐数字新里 1870 番地	南城市玉城字富里 143 番地
本籍	沖縄県南城市佐数字新里 1000 番地	沖縄県南城市玉城字富里 8100 番地 5
父母及び養父母の氏名	父 南城 太郎 続き柄 長男 母 南城 花子	父 沖繩 幸夫 続き柄 二女 母 大里 里子
婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	<input checked="" type="checkbox"/> 夫の氏 新本籍(左の○の氏の人が入籍の筆頭者となっているときは書かないでください) <input type="checkbox"/> 妻の氏 沖縄県南城市知念字久手堅 22 番地	
同居を始めたとき	平成 4年 1月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください)	
同居を始める前の夫婦のそれぞれのおもな仕事と	夫 妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 夫 妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 夫 妻 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 妻 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) 夫 妻 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 夫 妻 6. 仕事をしている者のいない世帯	
夫妻の職業	夫の職業	妻の職業
届出人署名	夫 南城 福太郎	妻 沖繩 美幸
住所を定めた年月日	夫 平成 年 月 日	妻 平成 年 月 日
連絡先	電話 090-(1234)1234 自宅・勤務先 [] 携帯	

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキ、こすると字が消えるペンで書かないでください。この届は、届出日が夜間、土・日及び休日でも届けることができます。(この場合、宿直等で取扱うので、前日までに、戸籍担当係で事前審査を受けてください。) この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。証人欄については、成人の証人2名以上が自署してください。

【南城市へ届出される場合】
夫：本籍が南城市→戸籍謄本不要
妻：本籍が那覇市→那覇市の戸籍謄本が必要

署名	南城 太郎 印	大里 里子 印
生年月日	昭和(平成) 45年 6月 7日	昭和(平成) 43年 2月 1日
住所	南城市佐数字新里 1000 番地	南城市玉城字富里 143 番地
本籍	沖縄県南城市佐数字新里 1000 番地	沖縄県南城市玉城字富里 8100 番地 5

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

父母の氏が違うときは、変更後(現在)の氏で記入します。

養父母がいる場合は記入します。

□には、あてはまるものに○のようにしるしをつけてください。外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書いてください。

夫婦の新しい本籍を都道府県名から記入します。ただし、夫(妻)の氏を選択しその方がすでに戸籍の筆頭者の場合は記入の必要はありません。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

◎署名は必ず本人が自署してください。
◎届出人の本人確認ができるもの(身分証明書等)をご持参ください。

住所や世帯主を変更したい方は、別に住民異動届等の手続きが必要です。

不備がある際連絡します。必ずご記入ください。

